

# 産官学共同研究に関する 最終成果合同報告会

入場無料  
要申込み

京都大学経営管理大学院 港湾物流高度化寄附講座  
京都大学防災研究所 港湾物流BCP 研究分野(共同研究)

2017 **6.6** TUE 13:00 ▶ 17:00

大手町ファーストスクエア カンファレンス

東京都千代田区大手町1-5-1 ファーストスクエア イーストタワー2F

13:00~13:15 受付

13:15~13:30 主催者挨拶

若林 靖永 (京都大学経営管理大学院 院長)

澁谷 拓郎 (京都大学防災研究所 副所長)

須野原 豊 (公益社団法人日本港湾協会 理事長)

13:30~14:30 ネットワーク経済と海運・港湾の市場戦略

小林 潔司 (京都大学経営管理大学院 教授)

14:30~15:20 港湾物流継続マネジメント研究の今日的意義と今後の展開

多々納 裕一 (京都大学防災研究所 教授)

15:20~15:30 休憩

15:30~16:10 港湾物流高度化寄附講座3年間の研究活動の軌跡

古市 正彦 (京都大学経営管理大学院 特定教授)

16:10~16:50 災害時物流の継続マネジメントのための分析法

小野 憲司 (京都大学防災研究所 特定教授)

16:50~16:55 閉会挨拶

中尾 成邦 (一般財団法人港湾空港総合技術センター 理事長)

主催:

京都大学 経営管理大学院  
京都大学 防災研究所

公益社団法人 日本港湾協会  
一般財団法人 みなと総合研究財団

一般財団法人 沿岸技術研究センター  
一般財団法人 港湾空港総合技術センター

# 産官学共同研究に関する最終成果合同報告会

## 講演者



**小林 潔司** *Kiyoshi KOBAYASHI*  
京都大学経営管理大学院 教授

海運ネットワークでは、船舶の大型化による規模の経済性と港湾での混雑現象が複雑に作用し、また歴史的な偶然や多くのステークホルダーの政策がそのネットワーク構造形成に強く影響している。このように形成されたネットワーク構造が、世界経済や市場関係者の利益にとって最適である保証はない。そして、多くの国・地域・ステークホルダーが自分の関心や利益を改善することを目的としてその構造の改編を試みるゲーム的な状況が現れていることを解説する。



**多々納 裕一** *Hirokazu TATANO*  
京都大学防災研究所 教授

港湾を中心とする物流の継続マネジメントは、災害多発の今日、わが国の経済・社会の安定と成長に欠かせない。現在まで進めてきた港湾におけるリスクガバナンス手法や災害時の港湾物流市場のモデル化等の港湾BCP研究の重要性を指摘するとともに、今後必要となるグローバルな観点やIoT等の情報技術を踏まえた研究展開の可能性を論じる。



**古市 正彦** *Masahiko FURUICHI*  
京都大学経営管理大学院 特定教授

3年間に渡る港湾物流高度化寄附講座の研究活動の軌跡を紹介したうえで、研究成果の一端として、①コンテナ船の大型化によるネットワークの変化や港湾側への様々な影響、②コンテナターミナルの陸側混雑改善策の提案と海外への適用可能性、③貨物の時間価値特性に関する考察と港湾への示唆などについて報告する。



**小野 憲司** *Kenji ONO*  
京都大学防災研究所 特定教授

港湾を核とした災害時物流の政策検討ツールとして5年間の共同研究期間中に開発した、BCPのための分析ツール並びに、産業サプライチェーン及び海陸一貫緊急支援輸送のシミュレーションモデルの概要と政策への示唆について報告する。

## 申し込み先

下記URLよりお申し込みください  
関連リンク:日本港湾協会  
(<http://www.phaj.or.jp/workshop/index.html> / 03-5549-9574)

## 問い合わせ先

京都大学経営管理大学院 港湾物流高度化寄附講座  
電話 075-753-5104  
京都大学防災研究所 港湾物流BCP 研究分野(共同研究)  
電話 0774-38-4182

